

# 2012年は国際協同組合年(IYC)です

## 「協同組合がよりよい社会を築きます」

## “Co-operative enterprises build a better world”

2010年11月にニューヨークの国連本部で決められた英語によるIYCのスローガン



2012国際協同組合年のロゴは、国際年のスローガン「協同組合がよりよい社会を築きます」に基づき、7名の人が協力して立方体を持ち上げ支えている様子を描いています。立方体は、協同組合の事業が目指す様々なゴール・志や、それらの事業が果たしうる成果を表現しています。性別を特定しない人々は、協同組合モデルの中心となる人々（People）を表し、7人という数は、協同組合運動の7原則を示しています。この7原則とはすなわち、自発的で開かれた組合員制、組合員による民主的管理、組合員の経済的参加、自治と自立、教育・訓練および広報、協同組合間協同、コミュニティへの関与です。

### 国連が2012年を「国際協同組合年」とすることを宣言

国連は、2009年12月の総会で、2012年を国際協同組合年（International Year of Co-operative=IYC）とすることを宣言しました。これは社会経済的発展への協同組合の貢献が国際的に認められた証で、特に協同組合が貧困削減・仕事の創出・社会的統合に果たす役割が着目されています。

国連総会は、この宣言の中で、国際連合とその全加盟国、関係者に対し、この国際年を契機として協同組合を推進し、協同組合が社会経済開発に果たしている役割に関する社会の認知度を高めるよう求めています。また、各国政府に対して、持続可能な開発や貧困の根絶、都市と農村の様々な経済主体の生計に貢献する事業体としての協同組合の成長を促すことや、協同組合に関する法的行政的規制を見直し、適切な税制措置や市場へのアクセス等において、協同組合が他の企業や社会的事業体と同様の活動を行える条件を整備することにより、急速に変化する社会経済環境における協同組合の成長と持続可能性を高めるように求めています。

### IYCの目的

- 1 協同組合についての社会的認知度を高める…協同組合の貢献・協同組合の世界的ネットワーク・コミュニティ構築や平和への取組などについて知ってもらう
- 2 協同組合の設立や発展を促進する
- 3 協同組合の設立や発展につながる政策を定めるよう政府や関係機関に働きかける

日本国内でも、2010年8月に、各種の協同組合をはじめとして、協同組合の活動に期待する団体・個人が連帯し、「2012国際協同組合年全国実行委員会」が発足しました。協同組合の価値や、協同組合の果たしている役割等について、広く国民に認知され、協同組合をさらに発展させるべく、取り組みを進めています。

### 国際協同組合デー高知県集会

毎年7月の第1土曜日は、「国際協同組合デー」です。高知県内でも、毎年その時期に、高知県生活協同組合連合会、JAグループ高知、高知県漁業協同組合連合会、高知県森林組合連合会の主催により、「国際協同組合デー高知県集会」を開催しています。協同組合運動に携わる人々が一堂に集い、協同組合の価値と役割を再確認するとともに、平和とよりよい生活の実現をめざして運動の前進を誓います。



2011年7月に開催された国際協同組合デー高知県集会